

CAD入力働き方改革も状況変らず

パネル化、3割が対応へ

ネットイーグルのアンケート調査

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は今年1〜2月にかけて全国のプレカット工場340社を対象に実施したアンケート調査の結果を発表した。各社の業績はおおむね好調で、今年度も駆け込み需要を見込む声が多かった。だが、CADオペレーターや職人の不足は依然として強く、働き方改革は道半ばであることも分かった。職人不足対策としてパネル化、建て方までの一括受注、多能工の育成が挙げられた。

調査期間は1月17日(79%)、4000坪以上8000坪未満が60社(33%)、減収(2月20日、184社)以上8000坪未満が増益が17社(9%)でから回答を得た。回答19社(10%)、80077社(42%)が増益と率は54・1%。各社の0坪以上が15社(8)になった。一方、横ばい月間加工坪数は400(%)。2017年度の減収が74社(40%)、減収0坪未満が144社業績見通しは増収増益減益は17社(9%)にと

どまり、業界環境はおおむね好調と判断された。

消費増税前の駆け込み需要について、

「5月連休以降に起きる」35社(19%)、

「9月以降に起きる」69社(37%)で、「起きる」との見方が56%に達した。

「働き方改革で残業が減るなど職場環境が変わったか」については、「大きく変わった」10社(5%)、「少し変わった」62社(34%)で、「変わった」と答えた会社は72社(39%)あった。一方、「変わっていない」も104社(57%)あり、「変わった」との回答を上回った。

CADオペレーターの不足は、「強く感じる」73社(40%)、「少し感じる」78社(42%)で、「感じる」との回答が151社(82%)と大多数を占めた。対策の方法(複数回答)については「新規雇用」38%、「代行入力会社を利用」24%、「海外にCADセンターを設置」8%だった。

非住宅プレカットへの設備対応は、「対応済み」67社(36%)、「今後対応予定23社」(13%)で、双方で90社(49%)とおおよそ半数に達した。

対応済みの工場の17年度は、3000坪未満が43社(64%)、3000坪以上が23社(34%)。工法別(複数回答)では、在来工法36%、金物工法26%、大断面工法16%、2×4工法9%。手掛けた建物の種別(複数回答)では、高齢者施設38%、店舗・倉庫35%、幼稚園・保育園17%、小・中学校5%で、高齢者施設が最も多かった。非住宅の構造計算に対応できる人材については、「いない」が43社(64%)と過半を占めた。

職人不足では、「強く感じた」「少し感じた」が156社(85%)に上った。不足を感じた工事(複数回答)は、大工が53%、基礎が30%、サイディングが8%だった。

職人不足に有効な対策として、「パネル化」が35%と最も多く、「プレカット&建て方一括受注」26%、「多能工の養成」23%と続いた。パネル化への対応については対応済みが37社(24%)だったが、今後対応予定を含めると44社(29%)と約3割に達した。

職人不足では、「強く感じた」「少し感じた」が156社(85%)に上った。不足を感じた工事(複数回答)は、大工が53%、基礎が30%、サイディングが8%だった。

職人不足に有効な対策として、「パネル化」が35%と最も多く、「プレカット&建て方一括受注」26%、「多能工の養成」23%と続いた。パネル化への対応については対応済みが37社(24%)だったが、今後対応予定を含めると44社(29%)と約3割に達した。

職人不足では、「強く感じた」「少し感じた」が156社(85%)に上った。不足を感じた工事(複数回答)は、大工が53%、基礎が30%、サイディングが8%だった。